

# 「立山黒部」世界ブランド化推進会議 第2回会議

ブランドコンセプト等検討資料



平成29年10月20日  
富 山 県  
観光・交通・地域振興局  
生活環境文化部



# 1. 「立山黒部」のブランドコンセプト等の必要性

## 平成28年度「立山黒部」の保全と利用に関する検討会 開催

- ⇒ ○ 「立山黒部」の世界ブランド化に向け、今後取組むべき28のプロジェクトを取りまとめ
- 併せて、中間報告書において、「立山黒部」が今後目指すべき方向性について整理

「立山黒部」の保全と利用を考える検討会中間報告書より

## 「立山黒部」のこれからの方向性

多種多様な「本物の価値・魅力」を、個人旅行者や訪日旅行者にも提供

- 「立山黒部」に多種多様な「本物の価値・魅力」があり、これまで提供してきた「鑑賞型・通過型」の観光コンテンツに加え、個人旅行者や訪日旅行者が求める「体験型・滞在型」の観光についても、多様な楽しみ方が可能な「世界でも類を見ない観光地」である。
- 「体験型・滞在型」の観光を磨き上げるとともに、アクセス・滞在環境・周遊性・安全確保の問題等について、一体的に取り組んでいく。

### 環境保全と観光振興の一体的な推進

- 保全と利用を相反するものとするのではなく、相互に高め合うものとして捉え、一体的に推進する。
- これまで全国に先駆けて実施してきた「立山黒部」の自然環境の保全の取組みに加え、例えば、質の高いエコツアーの充実、より環境負荷が少ない新たな交通体系の検討など、環境保全と観光振興の両面において効果的な取組みを推進する。

従来

「鑑賞型・通過型」

雪の大谷  
秋の紅葉  
黒部ダム

+

「立山黒部」の「本物の価値・魅力」を提供

「体験型・滞在型」

(例) 環境: 特異な地形・貴重で多様な動植物を楽しむエコツアー  
歴史文化: 立山信仰(布橋灌頂会等)の疑似体験  
スポーツ: 世界でも類を見ない豊富で良質な雪を活かした山岳スキー  
産業: 厳しい自然環境を克服した電源開発の歴史を体感できる  
関西電力黒部ルートの見学・体験  
防災: 世界文化遺産への登録を目指す立山砂防の見学・体験  
健康: 雄大で美しい自然の中を歩くトレッキングツアー  
食: 立山黒部の山の幸と富山湾の幸のコラボレーション

ターゲットは「本物の価値・魅力」を求める世界中の人々

- 単なる物見遊山ではなく、「立山黒部」が有する自然・歴史・文化・産業・防災など多種多様な「本物の価値・魅力」について、知的好奇心を持って訪れる世界中の人々を主なターゲットとする。

# 1. 「立山黒部」のブランドコンセプト等の必要性

平成29年度 「立山黒部」世界ブランド化推進会議（6月1日 第1回会議 開催）

## 【委員ご発言要旨】

- 各プロジェクトの上位概念として、**どういう観光地にしていくのかというコンセプト・目標**をはっきりさせるべき
- 「世界ブランド化」の意味について、**キーワードを探しながら、自分たちの資源に誇りを持つ作業**が必要
- **関係者が合意できる、立山黒部の目指すべき姿**を明確にすべき。それがイコール、ブランドになるはず
- 地元関係者とお客様の接点になるような、**大きな目標・ブランドステートメント**を考えるべき



- ① ブランドコンセプト
- ② 今後の取組みの方向性について、整理・議論を行う

《スケジュール》

●10月20日(本日)

第2回「『立山黒部』世界ブランド化推進会議」

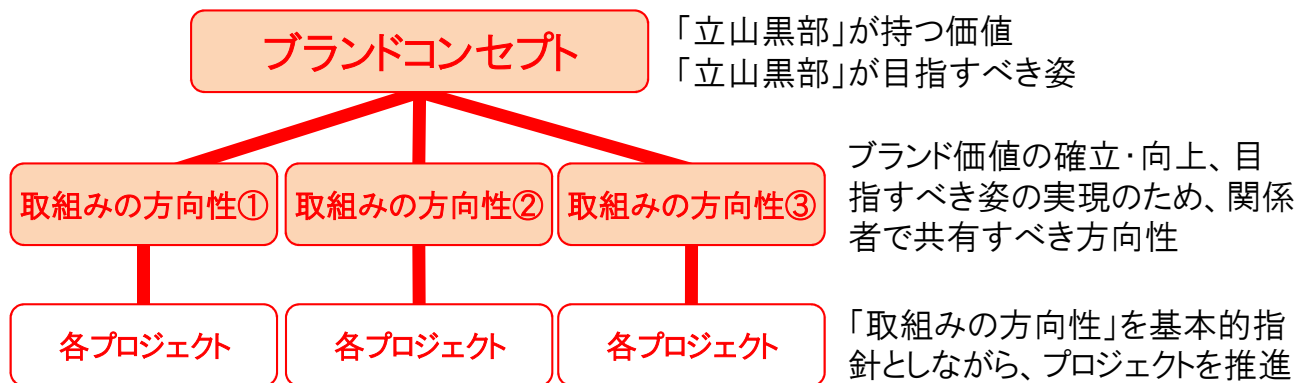
ブランドコンセプトの要素(案)や取組みの方向性(案)について事務局提出資料をもとに議論

●H30年2月頃

第3回「『立山黒部』世界ブランド化推進会議」

第2回会議でのご意見等を踏まえ、複数のブランドコンセプト(案)と取組みの方向性(案)を提示し、議論・とりまとめ

## 【イメージ】



## 検討に当たっての前提事項

- **世界水準の観光地**を目指す
- 立山黒部の**厳しい自然環境**を踏まえ、**最大限の安全確保**を行う
- **利用者目線**に立つ

## 1. 各地のブランドコンセプト等(参考事例)

## ◎ スイス・ツェルマツ

ブランド  
メッセージ

「Your best mountain experience ever....and ever and ever again」  
 (あなたにとってこれまで最高の山の経験であり続ける)



(出所)スイスツェルマツ公式HP

⇒「Your」利用者目線の徹底、「Mountain」マッターホルンなどヨーロッパアルプスの魅力  
 「Experience」体験型観光、「ever and ever again」常に最先端に行く、年齢により異なる価値を提供

## ◎ 日光国立公園

コンセプト

(出所)日光国立公園満喫プロジェクト地域協議会  
 「日光国立公園ステップアッププログラム2020」P28.12

「NIKKO is NIPPON  
 自然・歴史・文化美しい「日  
 本」を感じられる東京圏のプレ  
 ミアムリゾート」

目指すべき姿・取組み方針

- ① 上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園
- ② 体験・滞在・周遊型の国立公園
- ③ 低炭素・循環型を実現する国立公園

## ◎ 伊勢志摩国立公園

コンセプト

(出所)伊勢志摩公園満喫プロジェクト地域協議会  
 「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020」P28.12

「悠久の歴史を刻む伊勢神宮  
 人々の営みと自然が織りなす  
 里山里海」

基本方針

- ① 上質な展望環境及び快適な利用環境の整備
- ② 観光資源の磨き上げによるストーリー性を持った質の高い自然体験等の提供
- ③ 人々の営みと自然が織りなす優れた景観の保全

## ◎ 東京都

ブランドコンセプト

(出所)東京都「東京のブランディング戦略」P27.3

「伝統と革新が交差しながら、常に新しいスタイルを生み出すことで、多様な楽しさを約束する街」

ブランド・ステートメント

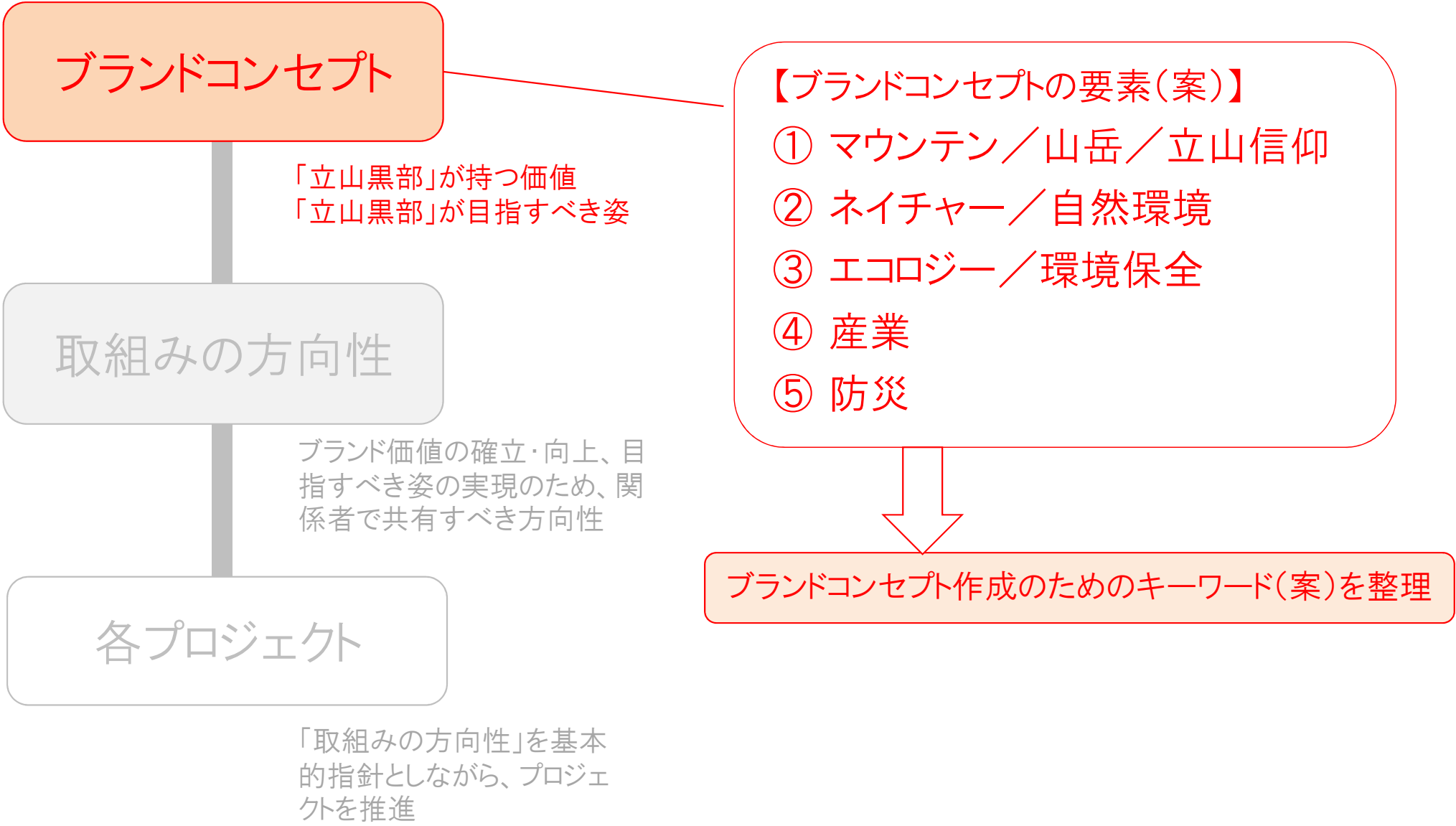
東京。ここには日本の変わらぬ伝統がある。この街が生み出すユニークな文化がある。おもてなしの心から生まれる洗練された時間がある。

今日も東京は、全ての人々が主人公となって、あらゆるモノやコトを革新し続けている。そこから生まれる様々なスタイルと未来につながる暮らしが、新しい体験を創り出す。

東京、それは訪れる度に想像を超えた感動に出会える街。そして自分だけの東京を発見する喜びを味わえる街。



# ブランドコンセプト



## マウンテン／山岳／立山信仰

## 過去の会議等における委員等のご発言要旨

- 山を神と思い、ライチョウを神の鳥として守ってこられた地元の皆さんの歴史を、海外の方々にストーリーとして説明していくことが、世界ブランドに繋がるのではないか。
- 立山信仰は、海外旅行者のみならず、国内旅行者も含めて、異日常性が感じられるところ。旅は異文化体験という側面が多いので、このコンテンツはまだまだ伸びしろがあると思う。
- 立山には歴史のあるものが多い。ライチョウも江戸時代から加賀藩で厳しく守られてきた。山岳ガイドも江戸時代からずっと山を守ってきて、その子孫が、現在、山小屋を経営している。
- 立山は古くから山岳ガイドが育ってきた場所であり、これまでも、登山の世界をリードしてきたと自負している。
- 越中(富山)の文学の源流・心のふるさとと言うべきものが大伴家持の和歌ではないか。(中西進氏 高志の国文学館長(2012.7「高志の国文学館開館記念展 大伴家持と越中万葉」にて))

## ブランドコンセプトの要素となるキーワード(例)

山岳 登山 歴史 最古 信仰 日本最高所  
 アルピニストの憧れ 非日常 異日常  
 神々の 畏敬 癒し 浄化 祓い 高低差4,000m  
 海と山 誰でも気軽に行ける ユニバーサルアクセス

## 日本最高所にある駅 室堂駅

- 日本最高所(2450m)に位置する鉄道(トローリーバス)駅
- 2500m近い高地まで公共交通でアクセスが可能
- トローリーバスは排ガスを出さない、環境に優しい交通



## 日本最古の山小屋 室堂小屋

- 室堂にある日本最古の山小屋(国指定重要文化財)。北室は1726年、南室1771年の建立と推定。
- 近くには、日本一高所の温泉、みくりが池温泉がある。



## 高低差4,000mの稀有な地形

- 3,000m級の立山連峰と水深1,000mの富山湾の高低差4,000mが生み出す稀有な景観と地形。
- 2014年10月「世界で最も美しい湾クラブ」に、富山湾が加盟。

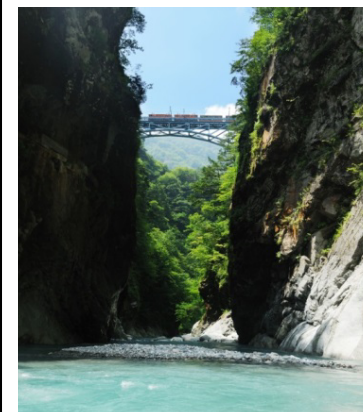


大伴家持(718~785)は、越中国守として赴任した746年から5年間に223首の歌を詠み、万葉集に残した。

「立山に降り置ける雪を  
 常夏に見れども飽かず  
 神からならし」  
 〈巻一七・四〇〇二〉

## 日本一深いV字峡 黒部峡谷

- 飛騨山脈北部を立山連峰と後立山連峰に分断する、日本一深いV字峡。
- 国の特別天然記念物及び特別名勝に指定。



黒部峡谷 (後曳橋)



## ネイチャー／自然環境

### 過去の会議等における委員ご発言要旨

- 世界水準と言われている山岳高原リゾートの持つ資源と比べてみても、全く遜色がない。固有の希少価値の高いものがあり、動植物の多様性という部分では非常に豊かな環境がある。
- 世界有数の豪雪地帯で、そこに氷河期からの生き残りであるライチョウもいて、雪も1年で解けてまた積もる。四季の繰り返しという、自然のダイナミックさが魅力的。
- 東南アジアの方が来るのは、雪に魅力があるから。
- 雪に関していうと、これはもうヨーロッパやオーストラリア、北米も驚嘆する量。室堂の周りは、恐らくヨーロッパを超えてナンバーワンになるポテンシャルのある場所ではないか。

※立山に降る雪や雨の量は、年間5,000mmを超え、世界でも有数

### ブランドコンセプトの要素となるキーワード(例)

豊かな自然 高山植物の宝庫 豪雪  
四季折々 自然のダイナミズム  
五感 感動 癒し リフレッシュ リラックス  
理想郷 未来に遺す

### 落差日本一350mの称名滝

- 中部山岳国立公園の特別保護地区内にある、国の名勝天然記念物及び県の史跡名勝天然記念物。



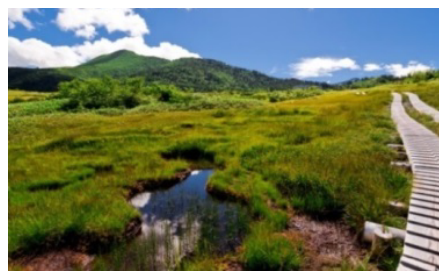
### 立山に日本初の氷河

- 富山県立山カルデラ砂防博物館の調査により、立山の御前沢雪渓、劔岳の三ノ窓雪渓、小窓雪渓の3つが、H24年、氷河であることが認められた。



### ラムサール条約登録湿地 最高所にある弥陀ヶ原湿原

- H24年7月「立山弥陀ヶ原・大日平」がラムサール条約に登録。
- 過去の火山活動によって形成されたなだらかな「溶岩台地」上に広がる登録湿地日本最高所の湿原。



### 標高や場所によって姿を変える 景観や植生の多様性

- 立山黒部でしか見られない高原植物など貴重な固有種の宝庫。
- 美女平では、樹齢1,000年を超えるタテヤマスギと、ブナの巨木の原生林の両方が広がる。



タテヤマリンドウ

## エコロジー／環境保全

## 過去の会議等における委員等のご発言要旨

- 立山のライチョウの生息域は面的に広がっており、線的に生息している他の地域と比べ、保護もしっかり行き届いている。
- 20年以上前からゴミの収集を行っており、場所によってはヘリコプターを使ってゴミを下げている。こういうところは、立山以外には無いと思うので、かなり先進的にやっているのではないかと。
- ゴミを持って帰ってもらうために、ビニール袋が設置されている。立山黒部エリアはすごく環境に気を付けており、環境を守りたいという気持ちを持っていることは、PRになるので伝えるべき。
- 環境対策されたトイレ(浄化槽やオガクズ方式など)の県内の山岳トイレの整備は進んでいる。
- これまでカメラマンとして日本全国、世界70か国ぐらい行っているが、一番きれいな山は、立山。山岳観光地で、あれだけ設備が整っていて、ごみひとつ落ちてないのは立山以外ない。(木村大作氏／映画監督・カメラマン(「富山物語」2009年春号より))

## ブランドコンセプトの要素となるキーワード(例)

保全と利用 共生 適正利用 持続可能  
 ゼロエミッション クリーンエネルギー  
 エコリゾート 環境先進地 最先端  
 ライチョウ ボランティア 協働

## 先進的に取り組む環境保護規制

- 全国に先駆けてマイカー規制を実施(S46～)
- バスの排出ガス規制を実施  
 H26.6自然環境保全のための排出ガス規制としては全国初「立山におけるバスの排出ガスの規制に関する条例」を制定(H27.4施行)



## 環境に配慮した山岳トイレの整備

- 県単独の上乗せ補助事業等により、環境配慮型トイレの整備が進んでいる。  
 (中部山岳国立公園内:  
 59/79箇所整備済み)
- また、訪日旅行者等に対応した洋式トイレへの移行整備も進んでいる。



環境配慮型トイレ

## 安定的に生息しているライチョウ

- 全国でライチョウの生息数が減少する中、積極的な保護活動等により、県内のライチョウ生息数は安定して推移。
- S48年よりライチョウ保護柵を設置(総延長9.7Km)



	S50年代	H20年代
県内	1,300羽	1,300羽
全国	3,000羽	2,000羽

## 地域が連携したゴミ処理の取組み

- アルペンルート沿線のゴミ減量化と搬出処理  
 (H11:254t → H28:160t)
- ゴミの持ち帰り運動と美化清掃大会の実施



収集したゴミは平地で処理



## 産業

## 過去の会議等における委員ご発言要旨

- 電源開発、ダム建設に関わるこの素晴らしい歴史を海外の方にも伝えなければいけない。ストーリーでしっかり伝えれば、敬意を払い、見方も変わるのではないかな。

## ブランドコンセプトの要素となるキーワード(例)

## 産業開発と自然の調和

共存 共生 人類の叡智

知的好奇心 近代化の歴史

先人の知恵と努力

物語 ストーリー 語り継ぐべき

## 落差186m日本一の黒部ダム

- 7年の歳月と延べ1,000万人の努力により、昭和38年に完成した日本最大のアーチ式ダム。
- 世紀の大事業と呼ばれ、破砕帯との格闘は石原裕次郎主演の映画『黒部の太陽(1968年公開)』に描かれた。



## 黒部峡谷鉄道

- 元々は電源開発のための専用鉄道として整備され、現在は観光客に開放。
- 電源開発の歴史を感じつつ、四季折々の黒部峡谷の渓谷美を楽しむことができる。



## 関西電力黒部ルート

- 黒部ダムと黒部峡谷の樞平を結ぶルート。黒部川第三発電所、第四発電所の建設などに伴い、関西電力(株)が工事専用軌道として整備。
- 黒部ルート見学会では、電力事業の歴史や黒部峡谷の素晴らしさを体感できる。



## 電源開発とともに開かれた宇奈月温泉

- 大正時代、黒部川の電源開発とともに、黒部川上流・黒蘆温泉から宇奈月へ引湯され、宇奈月温泉が発展。この温泉が、電源開発に尽力する工事作業員の疲れを癒していた。



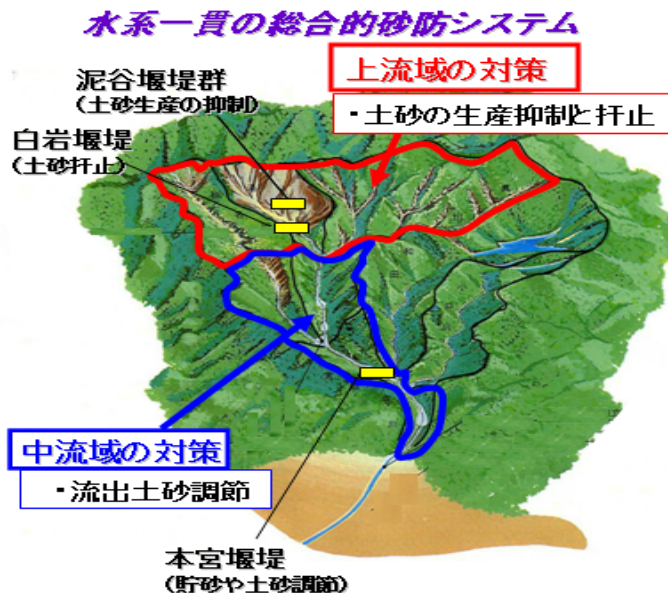
## 防災

## 過去の会議等における委員等のご発言要旨

- 立山カルデラは、弥陀ヶ原の展望台から見ると一望できる。また、紅葉や雪もすばらしい。現場の知恵を絞ってもっと活用すべきではないか。
- 立山砂防には、顕著な普遍的価値があり、人間の創造的才能を表わす傑作。(アルフレッド・ルイス・コンティ氏 イコモス副会長(2017.10.1「立山砂防国際シンポジウム」にて))
- 環境に配慮し、100年にわたり下流の住民を自然災害から守る取組みを高く評価できる(マルガレータ・ワルストロム氏/国連事務総長特別代表(防災担当) 2015.8.27)
- 立山砂防は自然と共生し、洪水対策として機能している。世界に誇れるものであり、世界遺産に登録し誇るべきものだ。(松浦 晃一郎氏/前ユネスコ事務局長(2015.11.3「世界遺産登録推進シンポジウム2015」にて))

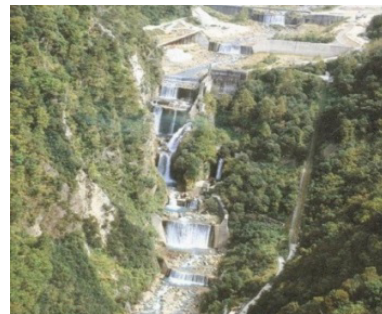
## ブランドコンセプトの要素となるキーワード(例)

防災とエコの両立 安心・安全  
 驚愕 大地の不思議 富山のあゆみ  
 日本独自 災害の克服 力強い  
 高度な技術力 先進地 緑化 交流



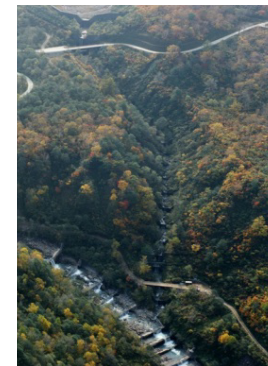
## 堰堤の高さ日本一の白岩堰堤砂防施設

- 中部山岳国立公園にあり、国指定重要文化財(砂防施設では国内初)。
- 本堰堤の高さ63m、副堰堤をあわせた総落差108mはいずれも日本一、かつ世界有数の高さを誇る。



## 防災とエコを両立した泥谷砂防堰堤

- 標高差122m、延長457mの区間に堰堤19基、床固(とこがため)3基が連続的に築かれた階段式砂防堰堤。国指定重要文化財。
- 現在は緑に覆われ、防災とエコを共に実現。



## 貯砂量日本一の本宮砂防堰堤

- 高さ22m、長さ107.4m、貯砂量日本最大の500万 $m^3$ を誇る砂防堰堤。国指定重要文化財。
- 昭和12年の完成から長きにわたり常願寺川流域を土砂災害から守ってきた重要な砂防堰堤。





# ブランドコンセプト

ブランドコンセプト

「立山黒部」が持つ価値  
「立山黒部」が目指すべき姿

取組みの方向性

ブランド価値の確立・向上、目指すべき姿の実現のため、関係者で共有すべき方向性

各プロジェクト

「取組みの方向性」を基本的指針としながら、プロジェクトを推進

## 【取組みの方向性(案)】

- ① 自然の保護と利用の両立
- ② 「鑑賞型・通過型」から「体験型・滞在型」の観光地へ
- ③ 来訪者の多様な目的・関心に応える観光地へ
- ④ 「立山黒部エリア」が持つ多種多様な魅力を活かしつつ、一体的に運用する

### 3. ブランドコンセプトを踏まえた「取組みの方向性」(案)

#### 取組みの方向性(案) ①

#### 自然の保護と利用の両立

全国初のガソリン車規制、国内随一のライチョウ保護の取組みなど、これまで官民一体となって行ってきた先進的な自然環境保全の取組みを、利用と両立させながら、持続可能な方法で継続・強化することで、根源的魅力である豊かな自然環境を保全するとともに、世界をリードする「エコリゾート」を目指す。

#### 【ブランドコンセプトとの関係】

- 「ネイチャー／自然環境」……立山黒部の根源的魅力である豊かな「自然環境」を守り抜く
- 「エコロジー／環境保全」……最先端の自然保護の取組みを、持続可能性ある方法で継続・強化

#### ◎ 取組みの方向性に照らした課題(例)

- エコツアーの更なる充実
- 来訪者に対する環境意識の啓発やルール遵守の推進
- 環境保全活動の持続性を向上させるため、利用者負担の在り方を検討する必要

#### ◎ 関連する主なプロジェクト

- 06 滞在プログラムの充実
- 21 登山道の整備
- 22 環境意識の啓発
- 23 山岳トイレの整備
- 24 外来植物除去活動の推進
- 26 環境保全経費の受益者負担の在り方の検討
- 27 とやまのライチョウサポート強化、生息状況調査

#### ◎ 参考事例(スイス・ツェルマット)

- 環境保全のため、ガソリン車の乗り入れ規制を行っており、地域内は電気自動車しか走ることができない
- ツェルマットの中に、電気自動車の製造メーカーがあり、部品はネジ1本にいたるまでツェルマットで製造されている(地域内の経済循環により持続可能な取組みに)



ツェルマットの街なかを走る電気自動車



街なかを走る馬車

(出所)トリップアドバイザーHP



## 3. ブランドコンセプトを踏まえた「取組みの方向性」(案)

## 取組みの方向性(案) ②

## 「鑑賞型・通過型」から「体験型・滞在型」の観光地へ

雪の大谷や紅葉などを駆け足で見て回る、従来の団体旅行者を念頭に置いた「鑑賞型・通過型」の観光地から、その土地ならではの体験・プログラムなどを時間をかけて楽しむ「体験型・滞在型」の観光地への転換を図ることで、来訪者により長く滞在いただき、「立山黒部」が持つ多種多様な魅力を堪能していただくとともに、観光消費額の拡大、リピーターの増加を狙う。

## 【ブランドコンセプトとの関係】

- 「マウンテン／山岳」……日本最古の山小屋や宿坊など、古くから滞在地として発展
- 「マウンテン／山岳／立山信仰」「ネイチャー／自然環境」「産業」「防災」  
……長期間滞在し、「体験型」観光により、立山黒部エリアにある多種多様な魅力を堪能

## ◎ 取組みの方向性に照らした課題(例)

- 一般の来訪者に十分に提供できていない魅力がある
- 長期間滞在に応えられるだけの滞在プログラムの数・種類が必要
- 多様な過ごし方を可能にするエリア内の周遊性・回遊性の向上

## ◎ 関連する主なプロジェクト

- 01 混雑スポットにおける食事・休憩スペースの拡充
- 05 宿泊施設の整備
- 06 滞在プログラムの充実
- 10 黒部ルート見学会の一般開放・旅行商品化
- 12 カルデラ体験学習会の周知強化等
- 17 立山～弥陀ヶ原ロープウェイ
- 20 宇奈月温泉街の賑わい創出

## ◎ 参考事例(スイス・ツェルマット)

- ブランドメッセージは、「Your best mountain experience ever, and ever and ever again」(あなたの最高の山岳体験であり続ける)であり、ツェルマットならではの経験(アクティビティ)が充実。登山、トレッキング、マウンテンバイク、スキー、スケート、ソリ、パラグライダーなど
- ガイド・インストラクターは、子供たちの「憧れの職業」
- エリア内での平均的な滞在日数は1週間程度。中には2週間滞在する旅行者もいる。



スノーシューツアー  
(出所)ツェルマット観光局



マウンテンバイク  
(出所)スイスツェルマット公式HP

## 3. ブランドコンセプトを踏まえた「取組みの方向性」(案)

## 取組みの方向性(案) ③

## 来訪者の多様な目的・関心に応える観光地へ

「立山黒部」の世界に通用する多様な魅力を活かし、来訪者の様々な目的・関心に応える観光地作りを進め、それぞれの事業者がターゲットに応じてクオリティの磨き上げを続けることで、世界水準の山岳観光地に比べても遜色のない満足度の高い観光地を目指す。

## 【ブランドコンセプトとの関係】

- 「マウンテン／山岳／立山信仰」「ネイチャー／自然環境」「産業」「防災」  
 ……立山黒部には、自然、山岳、信仰、産業、防災など、来訪者の多様な目的・関心に応えるだけの世界に通用する多様な魅力がある。  
 ⇒ これらの魅力を求める来訪者の多様なニーズに応え続ける、世界に誇れる観光地へ

## ◎ 取組みの方向性に照らした課題(例)

- 年間約100万人が訪れ、来訪者の様々なニーズが存在する中で、それに応えるだけの宿泊施設、滞在プログラム等の多様性が必要
- ファミリーやシニア、訪日旅行者など、どんな方にも立山黒部を満喫していただくための環境整備が必要
- 多様な過ごし方を可能にするエリア内の周遊性・回遊性の向上

## ◎ 関連する主なプロジェクト

- 05 宿泊施設の整備
- 06 滞在プログラムの充実
- 10 黒部ルート見学会の一般開放・旅行商品化
- 12 カルデラ体験学習会の周知強化等
- 14 多言語表記・案内の充実
- 15 携帯電話不通エリア、WiFi未整備エリアの解消
- 16 ユニバーサルサービスの推進

## ◎ 参考事例(アメリカ・ヨセミテ国立公園)

- 高級ホテルから、ロッジ、キャンプ場まで、来訪者の目的・ニーズに合わせた多様な宿泊施設がある
- 登山、トレッキングのほか、釣り、乗馬、サイクリング、ラフティングなど多彩なアクティビティを楽しむことができる
- 宿泊を伴う滞在者のエリア内平均滞在日数は約3.5日



高級ホテル(The Majestic Yosemite Hotel)  
 (出所)ヨセミテ国立公園HP



キャンプ場も多く整備されている  
 (出所)アメリカ合衆国国立公園局HP



### 3. ブランドコンセプトを踏まえた「取組みの方向性」(案)

#### 取組みの方向性(案) ④

#### 「立山黒部エリア」が持つ多種多様な魅力を活かしつつ、一体的に運用する

「立山黒部エリア」で活動する様々な事業者(交通事業者、山荘・ホテル事業者、滞在プログラム提供事業者など)の連携強化等を通じ、エリア内で行われる各種イベント等の情報共有・共同実施、デザインコントロールなどにより、「立山黒部エリア」の多種多様な魅力を活かしつつ、一体的に運用することで、来訪者をより楽しませ、満足度の高い観光地を目指す。

#### 【ブランドコンセプトとの関係】

- 「マウンテン／山岳／立山信仰」「ネイチャー／自然環境」「産業」「防災」  
……地域内に様々な魅力があり、様々な事業者等が活動  
⇒ 利用者目線の観点から、連携強化によるエリアの一体性の確保
- 「エコロジー／環境保全」……関係者一体となったエリア全体に渡る環境保全の取組みの推進

#### ◎ 取組みの方向性に照らした課題(例)

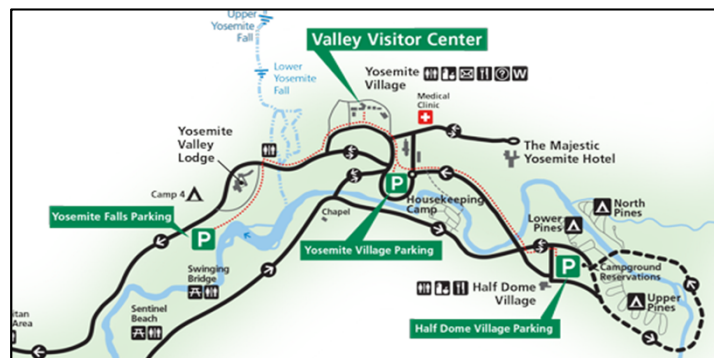
- 「立山黒部エリア」内で行われるイベント等の情報を共有し、来訪者に対して一元的に提供・発信する必要
- デザインの統一等によるエリア内の視覚的な一体性の向上
- 「立山黒部エリア」内の周遊性・回遊性の向上
- 関係事業者間での連携を強化する仕組みの構築

#### ◎ 関連する主なプロジェクト

- 04 高原バス等のWEB予約システム
- 06 滞在プログラムの充実
- 11 黒部ルート見学会の一般開放・旅行商品化
- 14 多言語表記、案内の充実
- 17 立山～弥陀ヶ原ロープウェイ
- 26 環境保全経費の受益者負担の在り方の検討

#### ◎ 参考事例(アメリカ・ヨセミテ国立公園)

- 国立公園局(連邦政府)が管理。公園中央に、ビジターセンターやネイチャーセンター、スーパーマーケットなどがあり、センターゾーンを形成
- 宿泊施設やキャンプ場、トレッキングコースなどがセンターゾーンを取り囲むように位置し、その間を無料のシャトルバスが循環(入園の際に、一定の入場料を徴収)。



シャトルバス  
循環ルート

(出所)アメリカ合衆国  
国立公園局HP

# ブランドコンセプト

# 4. ブランドコンセプト作成に向けて～まとめ～

**検討に当たっての前提事項**

- 世界水準の観光地を目指す
- 立山黒部の厳しい自然環境を踏まえ、最大限の安全確保を行う
- 利用者目線に立つ

## ブランドコンセプト

「立山黒部」が持つ価値  
「立山黒部」が目指すべき姿

## 取組みの方向性

ブランド価値の確立・向上、目指すべき姿の実現のため、関係者で共有すべき方向性

## 各プロジェクト

「取組みの方向性」を基本的指針としながら、プロジェクトを推進

- ① **マウンテン／山岳／立山信仰**

マウンテン 山岳 ガイド 登山 最古 信仰 日本最高所 アルピニストの憧れ 非日常 異日常 神々の畏敬 癒し 浄化 祓い 高低差4,000m 海と山 誰でも気軽に行ける ユニバーサルデザイン
- ② **ネイチャー／自然環境**

ネイチャー 豊かな自然 高山植物の宝庫 豪雪 四季折々 自然のダイナミズム 五感 感動 癒し リフレッシュ リラックス 理想郷 未来に遺す
- ③ **エコロジー／環境保全**

エコロジー 保全と利用 共生 適正利用 持続可能 ゼロエミッション クリーンエネルギー エコリゾート 環境先進地 最先端技術 ライチョウ ボランティア 協働
- ④ **産業**

産業開発と自然の調和 共存 共生 人類の叡智 知的好奇心 近代化の歴史 先人の知恵と努力 物語 ストーリー 語り継ぐべき
- ⑤ **防災**

防災とエコの両立 安心・安全 驚愕 大地の不思議 富山のあゆみ 日本独自 災害の克服 力強い 高度な技術力 先進地 緑化 交流

**【取組みの方向性(案)と関連する主なプロジェクト】**

- ① **自然の保護と利用の両立**

22 環境意識の啓発      23 山岳トイレの整備      26 環境保全経費の受益者負担の在り方の検討
- ② **「鑑賞型・通過型」から「体験型・滞在型」の観光地へ**

05 宿泊施設の整備      06 滞在プログラムの充実      20 宇奈月温泉街の賑わい創出
- ③ **来訪者の多様な目的・関心に応える観光地へ**

05 宿泊施設の整備      12 カルデラ体験学習会の周知強化等      16 ユニバーサルサービスの推進
- ④ **「立山黒部エリア」が持つ多種多様な魅力を活かしつつ、一体的に運用する**

04 高原バス等のWEB予約システム      06 滞在プログラムの充実      14 多言語表記、案内の充実